

京都新聞創刊130年記念

京都学

# 前衛都市 モダニズムの 京都展

1895-1930



2009.6.9(火) - 7.20(月・祝)

休館日：月曜日(ただし7月20日は開館)

開館時間：午前9時30分～午後5時(金曜日は午後8時まで) 入館は閉館の30分前まで

主催：京都国立近代美術館、京都新聞社

後援：京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、(社)京都府観光連盟、(社)京都市観光協会、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都

協力：平安神宮、株式会社 島津製作所、株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション

観覧料：【税込】一般1200(1000/900)円 大学生900(700/600)円 高校生500(300/200)円

※( )内の料金は前売/20名以上の団体料金。 ※本料金でコレクション展もご覧いただけます。 ※中学生以下、心身に障害のある方と付添者1名は無料(入館の際に証明できるものをご提示ください)

※前売券の主な取り扱い：電子チケットぴあ(0570-02-9999)、ファミリーマート、サークルK・サンクス各店舗(Pコード688-632)、ローソンチケット(0570-000-777)、ローソン各店舗(Lコード59733)、セブンイレブン、am/pm、CNプレイガイド、イープラス、京都新聞文化センターほか主要プレイガイド

京都国立近代美術館 [岡崎公園内]

〒606-8344 京都市左区岡崎円勝寺町 TEL: 075-761-4111

ホームページ: <http://www.momak.go.jp> テレホンサービス(展覧会のご案内): 075-761-9900



文化力

・「平安記念大極殿組絵」 尼崎市教育委員会蔵 ・山田伸吉「松竹庵 極光に語る女」 1924-25年 京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵 AN.2694-55/59  
・黒田清輝「青楼」 1893年 東京国立博物館蔵 重要文化財 Image: TNM Image Archives Source: <http://TnmArchives.jp/> ・「マキノ プロダクション」 第44号 1930年 立命館大学アート・リサーチセンター寄託 ・「日出新聞」 第1号(明治18年4月10日付)  
・田村宗立「洋童之図」 1890年 京都国立近代美術館蔵 ・テロイト号 1917年(2009年再製作) 株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション蔵 ・「第四回内国勲業博覧会及平安記念大極殿建築落成之図」 尼崎市教育委員会蔵

# 京都学 前衛都市・モダニズムの京都展



上野伊三郎「島津邸」一九二九年

時代を超えて、京都に開花した文化は、さまざまな角度から語られてきました。近代の美術では、日本画における京都画壇の趨勢や、田村宗立、浅井忠らによる洋画界の胎動、そして陶芸・漆芸・染織など工芸界「伝統と変革」の軌跡、さらには京都市内に今も点在する洋風建築への関心の高まりをはじめとして、これらの動向は、展覧会でしばしば取り上げられ、近代「京都美術」の輪郭はすでに定まったかに思われます。そして近年では、「京都学」という言葉にも象徴されるように、あらためて京都の歴史や風土に関心が高まっているのも周知のとおりでしょう。しかしながら、このたびの展覧会では、こうした歴史事実の回顧にとどまるのではなく、新たな視点を設定し、「近代の京都」の多様な文化について再考いたします。



竹内栖鳳「平安神宮・円山公園園屏風」一九二九年 東京国立博物館蔵 Source: TNM Images Archives. Image: <http://tnmimages.jp/> (左隻)

現在、京都国立近代美術館が建つ岡崎の地で、一八九五(明治二十八)年に第四回内国勸業博覧会が開かれ、同時に「平安遷都千百年記念祭」のシンボルとして、伊東忠太が設計した平安神宮が建立されました。博覧会開催の年に発行部数三千部を数えた京都新聞の前身「日出新聞」は、「平安神宮大極殿地鎮祭」で、当時の先進的な疏水・電気事業の象徴ともなるイルミネーションに彩られた大鳥居を寄贈し、「平安遷都千百年記念祭」と「第四回内国勸業博覧会」の開催気運を盛り上げます。また、京都の工芸界の発展に貢献したワグネルの巨大な顕彰碑も、後年、岡崎公園に建てられ、「近代京都」はまさにここ岡崎の地から幕を開けたといつて過言ではありません。



不動山「ヲ立」一九三〇年 京都国立近代美術館蔵

この第四回内国勸業博覧会を起点として、以下の構成で展覧会を組み立てます。

一 一八九五(明治二十八)年に開催の「第四回内国勸業博覧会」で、黒田清輝の裸体画が京都ではじめて公開され、入浴以前の浅井忠、新進の竹内栖鳳らも出品、美術界に押し寄せる新旧交代の波。同時に、日清戦争の勝利に象徴される当時の国情が、博覧会にも凝縮。京都洋画の先駆者・田村宗立、そして黒田清輝や浅井忠について、新たな角度から再考。

## 二 「第四回内国勸業博覧会」の波紋

明治モダニズム都市・京都 一八八五(明治十八)年に京都新聞の前身「日出新聞」が創刊され、この年京都近代化の発端となる琵琶湖疏水工事が着工。一八九三(明治二十六年)年には、「平安神宮大極殿地鎮祭」が執り行われ、日出新聞は、まさに電気事業の可視化ともいえるべきイルミネーションに飾られた高さ十二メートルの大鳥居を寄贈。「近代都市・京都」の誕生、そして「明治モダニズム」の表情をもつ具体例を紹介。

- 交通案内
- JR・近鉄京都駅前(A1のりば)から 市バス5番 岩倉行「京都都会館美術館前」下車すぐ
  - JR・近鉄京都駅前(D1のりば)から 市バス100番(急行)銀閣寺行「京都都会館美術館前」下車すぐ
  - 阪急烏丸駅・河原町駅、京阪三条駅から 市バス5番 岩倉行「京都都会館美術館前」下車すぐ
  - 阪急烏丸駅・河原町駅、京阪三条駅から 市バス46番 平安神宮行「京都都会館美術館前」下車すぐ
  - 市バス他系統「東山二条」または「京都都会館美術館前」下車徒歩約5分
  - 地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩約5分



●お車でお越しの場合、岡崎公園駐車場(地下)をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1台1名)を受けられますので駐車券をお持ちの上お越しください。

**京都国立近代美術館** [岡崎公園内]  
 〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町  
 TEL: 075-761-4111  
 ホームページ: <http://www.momak.go.jp>  
 テレホンサービス(展覧会のご案内): 075-761-9900

## 三 工芸の新展開・ワグネルの遺産

すでに一八七二(明治四)年、京都府は洋館二階建ての勸業場を開設、欧米の新しい技術の導入、物産の陳列紹介に着手。ここに舎密局を設け殖産の奨励をすすめる、京都府に招へいされたゴットフリート・ワグネルが、化学や七宝、工芸を指導。島津製作所の創業者・島津源蔵もここに学ぶ。京都におけるワグネルの遺産、京都・工芸界へのその後の影響を検証。

## 四 前衛都市・モダニズムの京都

電力事業による新たなメディアとして登場した映画。日本映画の父と呼ばれる牧野省三は、一九一九(大正八)年にミカド商会を設立、その後マキノ映画に発展し、まさにモダニズム文化の一翼を担う。また建築家・上野伊三郎も、島津製作所社長・二代目島津源蔵の私邸(現日本バプテスト病院)を設計。島津源蔵はここから電気自動車・デトロイト号で通勤した。進取の気風に満ちた「前衛都市・モダニズムの京都」の光景を再現。

**上映会「前衛都市・モダニズムの京都映画」**

7月10日(金) 午後7時30分〜9時30分  
 ●大活劇「闘争」1924年 東亜キネマ等持院(90分) 監督:金森万象 他2作  
 7月11日(土) 午後7時30分〜9時30分  
 ●鉄血團 1928年 マキノプロ(53分) 監督:川浪良太 他2作  
 京都国立近代美術館「階ロビー」にて、先着200名 料金500円(当日券のみ) 協力:東京国立近代美術館フィルムセンター

協賛企画「映画都市・京都のヴァンギャルド映画上映」

7月2日(木)、4日(土) 午後1時30分、5時、7時  
 ●狂った一頁 1926年 新感覚派映画連盟(93分)  
 原作:川端康成 監督:衣笠貞之助  
 7月3日(金)、5日(日) 午後1時30分、5時、7時  
 ●疏水流れにそよぐ 1934年 ONE FRONT KOTO(13分)  
 記録映画 監督:能勢克男

●「十字路」1928年 衣笠映画連盟(65分) 監督:衣笠貞之助

会場:京都文化博物館 3階映像ホール

山田伸吉「松竹座 罪と罰」一九二四〜二五年 京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵 AM2894/20/59

**松野の放浪者**

●シンポジウム「ひとつの京都学 美術・工芸・建築・都市」  
 6月20日(土) 午前10時30分〜午後5時  
 パネラー:稲賀繁美(国語学文化研究センター)、佐藤一信(愛知美術資料館)、藤井健三(財団法人西陣博物館)、丸山宏(名城大学)、山野英嗣(京都国立近代美術館) 司会:池田祐子(京都国立近代美術館) 後援:ジャポニスム学会

●講演会「マキノ映画と京都」  
 7月11日(土) 午後2時〜3時30分  
 講師:富田美香(立命館大学映像学部 准教授) いずれも京都国立近代美術館「階講演室」にて、聴講無料、先着100名